

令和5年度第9回 感染症発生動向調査協議会

令和5年12月20日

月番：加藤 達雄

1 前月の感染症発生動向について（2023年第44週～47週・11月）

<全数把握対象疾患>

- ・ 結核は20例の報告があり、うち0才が2名（結核患者1例、潜在性結核感染症1例）であった。累計では前年比87.4%と減少している。
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症は、10例の報告があり、うち9例が0-157であった。
- ・ つつが虫病の15例と多数の報告があり、本年累計16例は前年比320%と増加している
- ・ 後天性免疫不全症候群は、無症候性病原体保有者2名の報告があった。累計は15名で、前年比214.3%と増加している。

<定点把握対象疾患>

- ・ 新型コロナウイルス感染症は、前月比64.3%と減少している。
- ・ インフルエンザは、前月比205.6%と増加している。前年、2019年と比較して大きな流行が続いている。
- ・ 咽頭結膜熱は、前月比165.6%と増加している。前年同期比4021.4%、2019年同期比1126.0%であり、大きな流行となっている。
- ・ A群溶血性レンサ球菌感染症は、前月比123.6%と増加している。前年同期比710.2%、2019年同期比266.9%であり、大きな流行となっている。

2 検討すべき課題

（事務局から）

- ・ インフルエンザ患者報告数の増加について（継続）

3 情報提供（月番委員専門分野から）

60歳以上を対象としたRSウイルスワクチンが承認された。高齢者のRSウイルス感染症の診断に、抗原キットの保険適応がないため、高齢者呼吸器感染症におけるRSウイルス感染症の関与について、臨床医、市民の認識が乏しい状況である。ワクチンを普及するには、高齢者RSウイルス感染症に関する認知度の向上が必要である。

4 その他（感染症対策推進課から）

- ・ ノロウイルス食中毒注意報の発表について
- ・ 県内の飼養鳥・野鳥における鳥インフルエンザ陽性事例について
- ・ ノロウイルスの感染症・食中毒予防対策について
- ・ 「抗微生物薬適正使用の手引き第三版」の周知について（次頁に続く）

- ・ 中華人民共和国における小児の呼吸器感染症の増加について
- ・ 年末年始の海外渡航者に対する感染症予防啓発について
- ・ 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの定期の予防接種に係る対応について
- ・ 季節性インフルエンザワクチンの定期の予防接種について

<検討結果>